

# OCHISセミナーが開催される



ヘルスケアネットワーク(OCHIS)は11月11日、大阪市北区の大阪大学中之島センターにおいてOCHISセミナーを開催、関係者ら80名が参加した。

事業者は定期健康診断結果を有効に活用し、健康起因事故防止対策やドライバーの健康管理を推進する必要があるが、中小事業者においては受診後の活用が十分とは言えない状況である。

このセミナーは、中小企業向け支援の一環としてOCHISで立ち上げた「事故に直結するハイリスク者を簡単にピックアップするためのシステム」の概要について説明を行う等、健康起因事故防止を目的として開催されたもの。

セミナーの第1部では、国土交通省自動車局安

全政策課 鈴木謙一 安全監理第一係長より「事業用自動車の健康起因事故防止対策」、続いて公益財団法人大原記念労働科学研究所 酒井一博所長より「運輸事業者をバックアップするための社会的サポートの必要性」、続いてNPO法人ヘルスケアネットワーク(OCHIS) 作本貞子副理事長、黒田悦子保健師より「データに基づいたハイリスク者の見える化について」、最後にコフジ物流(株) 堂坂佳延代表取締役より「安全と健康の取組み～二度と同じ過ちを繰り返さないために～」のそれぞれのテーマについて講演が行われた。

第2部では、第1部での講演者らによるパネルディスカッションが行われた。